

## 一般社団法人日本老年学的評価研究機構設立 1 周年記念シンポジウム

### 1. タイトル

健康長寿社会実現に向けた産官学連携におけるデータ活用-その展望と課題-

### 2. 背景・目的

健康長寿社会の実現に向けて、内閣府は経済・財政と暮らしの指標「見える化」ポータルサイトの活用を進め、スポーツ庁は「スポーツオープンイノベーションプラットフォーム (SOIP)」を始め、厚生労働省は保健・医療・介護関連システムの連携強化を打ち出し、総務省は医療・介護・健康分野の情報化を推進し、経済産業省もヘルスケア産業の創出をはじめとする医療・介護データを用いた高齢者対策を促進するなど、様々な省庁が様々な切り口から保健・介護データの活用促進に乗り出している。

JAGES は、これまで約 20 年に渡って健康長寿社会を実現するため、自治体と保健・医療・介護データを縦断的に集めた共同研究を行い、その結果を自治体や社会に還元することで保健・医療・介護行政へ貢献してきた。今後、データを活用するためにはビッグデータの解析や IT 化などにおいては、AI や様々なツールの開発も必要であり JAGES 単独での開発は難しく、健康長寿社会実現に向けて企業等産業界との連携（産官学民メディア連携）も重要になる。

しかしながら、データの活用については個人情報の保護などへの配慮も必要になることから、本シンポジウムでは、健康長寿社会の実現に向けたデータ活用における産官学連携のあり方について議論する。

### 3. 開催日時・場所

平成 31 年 1 月 11 日（金）

於：東京大学山上会館（東京都文京区本郷 7 丁目 3-1）

### 4. スケジュール

14:00-14:15	JAGES 機構 理事 尾島 俊之	開会の挨拶
14:15-14:35	JAGES 機構 代表理事	これまでのデータを活用した産官学

	近藤 克則	連携事例と今後の展望
14:35-14:55	内閣府 政策統括官 (経済システム担当) 付 参事官(総括担 当) 補佐 中村 明恵 様	内閣府における自治体保有データの 活用と今後の方針
14:55-15:15	スポーツ庁 参事官(民 間スポーツ担当) 付 参事官補佐 倅田 康征 様	SOIPをはじめとするスポーツ庁に おけるデータ活用の方向性について
15:15-15:35	横浜市 健康福祉局 高齢健康福祉部 地域包括ケア推進課 見村 めぐみ 様	自治体保有データを活用した具体的 事例
休憩		
15:50-16:00	国際航業株式会社 加藤 清也 様	まちづくりにおける効果評価
16:00-16:10	日本電気株式会社 浜田 哲 様	データを活用した産官学連携の具体 的事例
16:20-17:00	パネルディスカッショ ン	健康長寿社会実現に向けた産官学連 携におけるデータ活用-その展望と課 題-
17:00-17:15	JAGES 機構 理事 相田 潤	閉会の挨拶

## 5. 参加者

74名 (内訳 省庁・自治体：12名 企業：40名 大学：7名 病院・  
医療法人：2名 団体：7名 メディア：5名 その他：1名)

## 6. 結果概要

シンポジウムでは、6名の登壇者がデータの活用や産官学連携に関し、そ  
れぞれの取組や方向性、今後の展望について発表いたしました。その後、

登壇者によるパネルディスカッションが行われ、「なぜ今データ活用や産官学連携が重要なのか」、「今後のデータを活用した産官学連携の展望と課題」などについて、登壇者だけでなく、当日参加いただいた会場の方も巻き込み議論を行いました。

各登壇者の発表とパネルディスカッションの概要は別添1を参照ください。

以上